

東京トレッキングクラブ

T. T. C. 会 報 2016年 6月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

<< 5月の山行計画（追加） >>

No. 3,253 檜洞丸 L山田広子

今年もたくさんの白ヤシオに会いに登ります。

5月19日（木）6：48 新宿発小田急急行小田原行＝7：22 町田＝8：08 新松田8：25（丹沢自然教室行バス）＝9：40 丹沢自然教室 9：50 歩き出し－50分ゴウラ沢出合－2時間15分檜洞丸－30分熊笹ノ峰－1時間30分犬越路－1時間用木沢出合－25分西丹沢自然教室

歩程：6時間30分＋1時間30分・・・8時間 18：00 西丹沢自然教室に着く。

18：58 発のバスで新松田駅へ。

地図：昭文社“丹沢”

費用：約3,800円

申し込み：5月16日（月）までに電話又はFAXでリーダーへ。

備考：ヘッドライト必携

《 6月の山行計画 》

No.3,254 貝取山緑地から多摩中央公園ウォーキング L中神琳枝

多摩市で緑を求めて緑地・公園・文化財と見どころ多いコースを訪ねて

6月5日（日）9：01 新宿発小田急急行小田原行＝9：28 新百合ヶ丘9：31（多摩線）＝9：41 小田急永山駅南口 9：50 歩き出し－30分麦花塚－25分貝取山緑地－25分庚申塔－20分とちのき公園－20分白山神社－5分グリーンライブセンター－10分富澤家住宅－10分多摩中央公園大池－25分縄文の村－15分多摩センター

歩程：3時間5分＋2時間5分・・・5時間10分 15：00 多摩センター駅に着く。

地図：2.5万図“武蔵府中”

費用：約 800 円（新宿起点）

申し込み：6月3日（金）までにリーダーへ。

No.3,255 北海道 礼文島 <C> L佐藤ツヤ子

「花の浮島」と言われる日本最北の島「礼文島」に一番花の美しいこの時期に遠出してみませんか。固有種のレブンアツモリ草にも会えると思います。

6月7日（火）稚内の宿集合（18時30分頃迄） 民宿「さつき」0182-23-3566

6月8日（水）6：20 稚内（船）＝8：15 香深（礼文島） 宿の車で礼文岳登山口（内路） 9：00 歩き出し－2時間20分礼文岳－1時間40分内路 14：00 頃下山し宿の車又はバスで宿へ。 宿「海憧」0163-87-2717

歩程4時間＋1時間・・・5時間 宿に着いてから久種湖へ。

6月9日（木）朝のバスでスコトン岬へ（バス時間不明。現地に着いてから）。

4時間コース（スコトン岬－鉄府－澄海岬－浜中まで）その後バス等で香深井へ。レブン林道コースの一部を約2時間歩いて宿の車で宿へ。

民宿「さざ波」0163-86-1420

歩程：4時間＋2時間＋1時間30分・・・7時間30分

（林道コース中止の場合あり。）

6月10日（金）桃岩展望台コース7：30 歩き出し－12：30 知床（宿の車で香深へ）

歩程：4時間＋1時間・・・5時間 13：25 香深（船）＝16：15 稚内宿「さつき」へ。

6月11日（土）午前中稚内市内めぐり観光バスに乗車。昼食後解散。

地図：昭文社“利尻・羅臼・斜里・阿寒”

費用：宿代4泊分約 33,000 円＋船往復約 5,500 円。その他島内のバス代、稚内の観光バス代など

申し込み：稚内までの交通手段が確定したら4月末迄に。

備考：サブザック・防寒着など登山用具一般。

No.3,256 千部ガ岳から出流山満願寺 <C> L 高橋輝男

6月12日（日）7：10 浅草発東武快速日光・会津田島行＝8：25 栃木 8：45（栃木ふれあいバス）＝9：46 出流観音 10：00 歩き出し－15分千部ガ岳遊歩道入口（片角林道、寺坂峠林道の分岐近辺）－30分山ノ神－40分千部ガ岳護摩壇跡－15分千部ガ岳（572m）－45分観音入林道－10分奥ノ院（卍）－35分出流山満願寺本堂－10分出流観音バス停
歩程：3時間20分＋1時間40分・・・5時間 15：00 出流観音バス停に着く。

地図：2,5万図 “仙波”

費用：約 3,000 円（山内護持のための入山料 300 円も含めて）

申し込み：6月10日（金）までにリーダーへ。

備考 満願寺門前には名物出流そばの店がたくさんあります。時間が許せば食べたいと思いますが。

No.3,257 杖突峠から守屋山 <C> L飯田隆一

6月18日（土）7：00 新宿発スーパーあずさ1号松本行＝9：08 茅野＝タクシー20分守屋山登山口（杖突峠） 9：40 歩き出し－45分アカエ沢源頭－40分守屋山東峰－15分カモシカ岩－15分守屋山西峰－25分沢コース分岐－45分林道－30分片倉
歩程：3時間35分＋1時間30分・・・5時間05分 14：45 片倉に着く。タクシーで茅野駅へ。

地図：2.5万図 “辰野、茅野”

費用：約14,000円

申し込み：6月16日（木）までに電話、FAX、SMSでリーダーへ。

No.3.258 苗場山から佐武流山 <A> L飯田隆一

6月22日（水）7：00 東京発上越新幹線とき303号新潟行＝7：06 上野＝7：26 大宮＝8：10 越後湯沢＝タクシー約30分和田小屋 9：00 歩き出し－1時間10分下ノ芝（1,703m）－1時間10分小松原分岐－20分神楽ヶ峰－1時間10分苗場山山頂自然体験交流センター（泊）

歩程：3時間50分＋1時間40分・・・5時間30分 14：30 山頂自然体験交流センターに着く。（泊） TEL025-767-2202

6月23日（木）4：30 歩き出し－20分大きな池塘－35分苗場山南縁の池塘－50分1,800mの道標地点－25分ナラズ山－30分広場－35分水場下降店－10分西赤沢源頭（佐武流山登山口）－15分坊主平－50分佐武流山－1時間10分悪沢峠－55分物思平－35分檜俣沢渡渉点－20分檜俣沢林道－1時間20分ゲート

歩程：8時間50分＋1時間50分・・・10時間40分 15：10 ゲートに着く。宿の車で宿へ。

6月24日（金）和山温泉 10：10 発バス津南行＝11：26 津南役場前 11：59 発越後湯沢行バス＝12：22 清津峡入口（清津峡散策）15：07＝15：33 越後湯沢＝上越新幹線

地図：2.5万図 “苗場山、佐武流山、切明”

費用：約36,000円

申し込み：6月16日（木）までにリーダーへ。

No. 3,259 石裂山 L河野良子

6月26日（日）7：10 浅草発日光・会津田島行東部快急（中央付近）＝8：45 新鹿

沼＝タクシー約 45 分石裂神社 9 : 45 歩き出し－10 分加蘇山神社－30 分千本松－30 分中ノ宮－35 分稜線－10 分東剣ヶ峰－30 分石裂山－10 分月山－1 時間石裂神社
歩程：3 時間 35 分＋1 時間 30 分・・・5 時間 05 分 14 : 50 石裂神社に着く。バス又はタクシーで新鹿沼駅へ。

地図：2.5 万図 “古峰原”

費用：約 3,000 円

申し込み：6 月 24 日（金）までに電話、FAX でリーダーへ。

《 3 月 の 山 行 報 告 》

No.3,228 高川山～羽根子山～大岩 < B >

パーティ：女性 4、男性 2 名 計 6 名

3 月 5 日（土）晴。初狩駅から女坂を登り途中羽根子山への分岐を確認しておく。高川山山頂でゆっくり展望を楽しんでから、下り始めてすぐに分岐。か細い巻き道でいい感じ。ロープの張ってある急な登りで立った羽根子山は、やせ尾根で休むには不向きです。屏風岩でお昼にしました。富士山・三つ峠・鶴ヶ鳥屋山・滝子山が近くに見えました。短いがやせ尾根、岩、展望と変化があり楽しめました。むすび山から歩き出しにするとさらに良いでしょう。

初狩駅歩き出し 8 : 30－登山口 9 : 00－高川山 10 : 00～25－羽根子山 10 : 55－神馬沢山 11 : 00～10－鍵掛峠 11 : 40－大岩 12 : 00～15－屏風岩 12 : 30～13 : 00－初狩駅 13 : 40
(山田 (広) 記)

No.3,229 蔵王坊平ゲレンデスキー、スノーシュー

パーティ；女性 3、男性 1 名 計 4 名

3 月 5 日（土）快晴。雪不足と云われども坊平高原は 1.35m の積雪。野口ペンションで昼食を済ませてオーナーのガイドにて全員スノーシューで刈田岳をめざす。広大な御田神湿原辺りから樹氷の世界。コバルトブルーの空と様々の形のモンスターに感嘆の声が上がる。

お釜は雪をかぶり円形球場の様だ。神社の鳥居にも雪が張り付き、あたかも生クリームでデコレーションした姿、なんとも珍しい。下りは神社から樹氷の中を道なき道を慎重に下る。

行きは利用した 2 基のリフトも帰りは徒歩で下り標高差 700m、素晴らしい樹氷トレッキングだった。

リフト利用・歩き出し 12 : 40－刈田岳 14 : 10－坊平スキー場駐車場 16 : 30

3月6日(日) 快晴。ペンションの車で蔵王スキー場の黒姫駐車場へ、スキー組は1人、他の3人はスノーシュー組、オーナーのガイドにてリフトとロープウェイを使って地蔵山頂駅へ。名物のお地蔵さんは胸まで雪に埋まっている。20分の登りにて地蔵山へ、左側から西吾妻、真正面朝日連峰、その横に月山、葉山と真白い峰々を望む。雄大な景色眺めながら足元に神経を集中して樹氷原を下る。きつね、かもしか、うさぎ、りす等の足跡を見つけ雪玉が急斜面を転がる。中間点レストラン“とどまつ”にてスキー組と合流。スノーシュー組は百万人ゲレンデを少し歩き再び林に入り黒姫駐車場で4人揃う。昨日同様標高差700mの樹氷トレッキングでした。

ペンション発8:30＝リフト・ロープウェイ乗り継ぎ 歩き出し9:50－地蔵山10:10－レストランとどまつ11:45～12:40－黒姫駐車場13:40

3月7日(月) 曇り。昨日同様スキー組は坊平スキー場にて。スノーシュー組は坊平のリフト一基に乗りブナの巨木を目指す。ブナの巨木は周囲3mを越える雄姿であった。帰路は車には乗らずにペンションまで歩いて下る。午後は雨が降り出し13:24のシャトルバスでかみのやま温泉駅に向かう。

ペンション発9:00－歩き出し9:30－ペンション着11:15 (石井 記)

No.3,230 No. 3, 230 生田緑地、日本民家園、のウォーキング

パーティ：女性6、男性2名 計8名

3月8日(火) 晴。10:00 小田急線向ヶ丘遊園駅を歩き出す。10分ほど歩いて生田緑地に入る。すぐに長者穴古墳群があった。広さ180haの園内には飯室山と柘形山の2つの山があり、それぞれに展望台があり都心のビルや奥多摩等の山を眺められるが、今日は霞がかかり見えなかった。日本民家園の横を通り噴水広場に出ると青少年科学館があり側にD51蒸気機関車があった。メタセコイアの林を抜け岡本太郎美術館に着き、中に入り見学。よく分からない。もどって梅園に登り昼食。梅は終わりに近かったがボケが咲いていた。下って生田緑地を出た。バラ園の横を通ったが完全な山道であった。東高根森林公園は遠いので行くのを諦め向ヶ丘遊園駅に向かった。途中喫茶店で休憩。

向ヶ丘遊園駅10:00 歩き出し－岡本太郎美術館11:30～12:00－向ヶ丘遊園駅15:00 (飯田 記)

No.3,231 馬場ヶ谷の沢から鎌倉アルプス天園へ <C>

パーティ：女性11、男性3名 計14名

3月13日(日)曇。千光寺に沿って坂を上り、高速道路のトンネルの上から「やまなみの道」に入つて三つ目の鉄塔(1号鉄塔)で熊野神社への道標が有り、右折して熊野神社に向かう。朝夷奈切通を下り十二所神社から吉沢川沿いの道に入ったが、踏み跡は昨夜の雨

で湿っていて滑りやすかった。沢を幾度となく渡り返しながらかみ、岩盤の川床を登り切って源流となり、ひと登りで尾根に飛び出した。太平山は割愛、お塔やぐら（墓地）を目指す。岩石に穴を掘った中に石の墓が立っていた。

先ほど歩いた吉沢川に下り十二所神社バス停で解散。と同時にバスが停車、金沢文庫駅へ。六浦駅歩き出し 9: 40—千光寺 10: 00—1 号鉄塔 10: 40—熊野神社 11: 00—15—十二所神社 11: 50—食事 12: 00—35—天園 13: 50—お塔やぐら 14: 25—十二所神社バス停 14: 55（高橋（輝）記）

No.3,232 ミツバ岳～屏風岩山東尾根 < B >

パーティ：女性 1、男性 2 名 計 3 名

3 月 23 日（水）晴。予報通りの温かい花見日和となった。バス停から車道 30 分程で登山口より尾根にとりついた。よく踏まれた道を歩き、満開のミツマタを楽しみミツバ岳に至った。山頂もミツマタの群生地である。北東へ少し下り登り返すと権現山で、平日にもかかわらず山頂には多勢の登山者がいた。数 10 人や数人のグループがいたが、屏風岩山へ向かう人はいないようだ。

権現山からかなりの急降下で約 250m 下り二本杉峠に着く。ここは昔の行商路で、今は廃村となった地蔵平集落へ巡る峠だが、集落に至る 2 本の道はいずれも危険この上ない廃道である。我々は北へ向かい程なく屏風岩山に着き、地図を確認しながらミツマタ満開の東尾根下りた。赤テープに誘われて最後は厳しい下りとなったが、バス停最短ルートではあった。

浅瀬入口バス停 8: 15—登山口 8: 45—ミツバ岳 11: 00—権現山 12: 00—20—二本杉峠 13: 00—屏風岩山 14: 00—大滝橋バス停 15: 10（五十嵐 記）

No.3,233 No.3,233. 館山 野鳥の森・房の大山 < C >

パーティ：女性 8、男性 1 名 計 9 名

3 月 23 日（水）晴。バスを安房神社でおり野鳥の森ふれあい館へ。身支度をして歩き出す。小鳥の鳴き声を聞きながらいくつかの展望台を越え西沢へ下った。ここから丸太階段の急登が続き今日一番の高所、天神山(146m)に着き昼食タイムにする。

(12:00~12:30)

ここから西沢へ廻り西沢の池から野鳥の森ふれあい館へ、2 時間 30 分コースを一周した。

春霞で大島や富士山の展望はなかった。バスまでの時間があったのでアイスクリームを食べ、お喋りと安房神社へ参拝。14: 35 のバスで坊田へ、15: 20 林景荘に着く。野鳥の森ふれあい館 11: 00 歩き出し—12: 00 天神山（昼食タイム 12:00~12:30）—

13:20 野鳥の森ふれあい館

3月24日(木)曇。宿の車で坂田(房の大山登山口)へ。民宿の脇から登山道になりしばらくは竹藪を進み、雑木林の滑りやすい急登になり、稜線に出るとなだらかな登山道になるがそのうち房の大山への急登になり頂上へ。立派な一等三角点にタッチ。館山湾が真下にみえるが遠くの展望はない。いまにも雨が降ってきそうな天気。帰りは波左間へ。下山道は案内標識もあり踏跡もしっかりしているがどんどん下るうち竹藪をすぎて丁字路を左に曲がると踏跡が消える。尾根に沿って進み右へ引き込まれないよう注意しながら下り、赤テープを探しながら無事に下山口に出て集落を抜けバス停に着く。バスで館山駅へ。解散

房の大山登山口 9:30 歩き出し - 10:20 房の大山 - 11:50 休暇村館山 (阪本 記)

No.3,234 火戸尻山～鳴虫山

パーティ: 女性2、男性3名 計5名

3月26日(土)晴。下今市からタクシーで坂本に向かったが運転手は0場所をあまり良く分からない様で道の左側にあるはずの八坂神社が右側にある。そのうちに新谷に来てしまったのでコースを変更し赤井原林道に入ってもらった。沢が2つに分かれるところでタクシーを降り歩き出した。林道の終点まで歩き右の尾根を目指して檜林の中を強引に登り支尾根に出た。この支尾根に登り坂本からの尾根の641m pの少し上に出たようだ。男体山、女峰山そしてその間に大真名子、子真名子山が雪をかぶって見えていた。気温は低く汗を少しかくだけ。少し楽になった尾根を北西方向に辿って火戸尻山に着いた。火戸尻山には誰もいない。此処からは分かり易い。鳴虫山まで着かないうちに昼になったので919m pの近くで陽だまりを求めて昼食とした。次のピーク996m pを超すと鳴虫山である。ここにも誰もいない。天気が下り気味で男体山、女峰山には雪雲がかかり始めた。少し休み下り気味に歩き神ノ主山(このすやま)に着くと若者が一人いた。下って日光市街に入り東武日光駅に着いて解散した。タクシーで奥まで入ったので早く下山出来た。往復の電車内には外国人の観光客が沢山いた。目の前のノールウェイから来ていた2人の男性が我々の写真を撮っていた。

外国の観光客は長い休暇で来ているようだ。

赤井原林道歩き出し 9:45 - 林道終点 10:10 - 火戸尻山 11:05 ~ 20 - 919m p (12:00 ~ 30、昼食) - 996m p 13:15 - 鳴虫山 13:35 ~ 45 - 神ノ主山 14:40 - 登山口 15:10 - 東武日光駅 15:20 (飯田 記)

No.3,235 引地川を歩く

パーティ: 女性4、男性1名 計5名

3月27日(日)晴。長後駅から歩き出す。西へゆるく、くだる道の先に丹沢大山

が望める。引地川に出ると右に広々と田園風景が広がり、人家も少なく静かな川辺歩きができる。川筋は水が澄みコイが泳ぎ、カモ・コサギなどの水鳥が群れていた。やがて東海道新幹線の高架橋が見え、くぐると川辺の道は住宅地が続く道となります。高座駅近くには花浄土みつまたの花として有名な常泉寺があり中に入ると両側や境内を赤・白・黄に彩る 250 本のミツマタは見事です。アシビ・ハナイカダ・リュキンカ・ボケ・花ニラ・シャクナゲなど・・・花・花・花で春の香りがただよっている。花の中で昼食を楽しみ川辺に戻り、福田地区を流れる引地川の両岸の桜並木を楽しみに進むが花は4分咲きの桜回廊が続きます。田中八幡宮から草地で宴を張る人々がいる川辺を後に道なりに歩き山下橋で川と別れ富士見公園から桜ヶ丘駅に向かう。

長後駅歩き出し 9:50-六合橋 10:10-常泉寺 11:40~13:10-田中八幡宮 13:40~50-山下橋 14:10~25-桜ヶ丘駅 14:40 (中神 記)

No.3,236 鐘撞堂山 <C>

パーティ：女性8、男性1名 計9名

3月27日(日)晴。天気予報に反して晴れを期待出来る高曇りの中を歩き出す。登山口にある八幡神社で参拝し、本日一番の急登を一気に登り汗をかく頃には八幡山に着く。通過点のピークと言う感じでこの先は小さなアップダウンを繰り返しながら山ツツジの咲く中をのんびりと進む。やがて「カタクリ自生地」の立て札を見るようになる。樹下にポツポツとカタクリの花を見、写真を撮ったりしながら頂上に向う。頂上直下の斜面には植林されたアブラチャン(サンシュユかも)が何本も黄色の花をつけ満開に咲いていた。頂上にはアズマ屋と展望台があり、桜の大木が沢山有るが開花は先の様だ。寄居の街を眼下に富士山も見えるところだが本日は見えなかった。

昼食顔「円良田コース」を下山開始。円良田湖を右下に見て少林寺に向う。階段の先が羅漢山で小広い山頂は阿弥陀仏を中心に石仏が並び、あずま屋もある。この先は少林寺までの下山路に「五百羅漢」があり、一体ずつ異なった表情に皆さんワイワイ賑やかに喋りながら下った。自分に似た顔は有ったのでしょうか？ 少林寺から駅までも道端にフキのトウヤツクシを見つけて収穫しながらの楽しい春の一日でした。お疲れ様。

桜沢歩き出し 9:05-9:15 八幡神社 9:18-9:35 八幡山-10:52 鐘撞堂山(昼食) 11:30-12:12 羅漢寺山 12:20-12:40 少林寺 12:50-13:35 破久礼駅 (佐藤(ツ) 記)

No. 3,237 残雪の上高地スノーハイク <C>

パーティ：女性2、男性2名 計4名

3月14日(月)雪 松本城観光の前に品書き2点のみのそばにて昼食、後雪の中を

松本城へ。外国からの観光客も雪の中を来ていました。駅に戻り宿の車で中の湯温泉旅館へ。建物もきれいで温泉もいい宿でした。

3月15日(火)曇り時々晴れ 問い合わせ中には軽アイゼンで大丈夫とのことでしたが宿の情報で昨日の積雪が30センチあったとゆうことでスノーシューを借りて釜トンネル入口迄送ってもらい出発。トンネルを出たら雪の降った気配無し、スノーシューを付け工事用(釜トンネルの先にトンネルを建設中)のダンプ等に気を付けながら大正池へ。湖畔にて、焼岳を見ながら雪上でおでんパーティをし送迎の車の時間があるので下山、残念ながら岳沢、穂高は見えませんでした。

宿の車で8:00出発=釜トンネル入口8:30-9:10トンネル出口-10:15大正池(30分休憩)-トンネル出口11:20-11:50入口

(大塚 記)

《 お 知 ら せ 》

☆ 7月の山行予告

7月9日(土) 御所山 L 飯田隆一

穂高岳周辺 <A> L 五十嵐知也

7月13日(水) 上高地-横尾 (テント泊)

7月14日(木) 横尾-涸沢 (テント泊)

7月15日(金) 涸沢-北穂高岳-涸沢岳-奥穂高山荘(泊)

7月16日(土) 奥穂高山荘-奥穂高岳-ジャンダルム往復-涸沢(テント泊)

7月17日(日) 涸沢-パノラマコース-上高地

備考: 1) 参加者は山岳保険(JROまたは日本山岳共済会)に加入のこと

2) 梅雨明けなど天候状況によっては8月末に変更します。

3) 個人山行にする場合もあります。

7月18日(日)~19日(月) 太郎山~山王帽子山 <A> L 飯田隆一

☆ 次の方が退会しました。

No.300 山田とよ、No.417 荒木洋三、No. 552 見目定雄

☆ 個人山行のお誘い

清八峠~三ツ峠山 <A> L 五十嵐知也

6月16日(木) 6:30 八王子発松本行=7:33 笹子 歩き出し-3時間20分

清八峠-2時間10分御巢鷹山-1時間25分八十八大師-1時間50分三ツ峠駅

歩程: 8時間45分+1時間15分...約10時間

地図：昭文社“高尾・陣馬”、“富士山”

費用：約 3,000 円

申し込み：6月14日（火）までにCメール又は電話でリーダーまで。

☆スポーツ安全保険について

担当 大塚康彦

下記 39 名の加入手続きを完了しました。

吉原幸子、菊地玉記、松永道子、加瀬英子、堅田秀子、北原淳子、飯田隆一、
森田俊子、石川博康、大塚康彦、瀬川仁子、阪本弘二、阪本操子、河野良子、
佐藤ツヤ子、高橋輝男、中神琳枝、山田広子、佐近よし、下山純子、飯島正子、
安部友里、成川隆、高橋淑子、持田ヒデ子、古屋光代、畑石慶輝、山本武、
徳永智恵、木原良枝、柴田しづ子、福島壽、森戸ふみ、虹紅輝、峯原秀夫、
島田秀子、石田里千代、荒サトコ、佐藤美晴 （申し込み順）

☆ 6月の役員会は6月1日（水）練馬区役所 19階 1906室 18:00～20:00です。

☆ 7月の山行計画及び山行報告を4月30日（土）までに飯田まで提出して下さい。